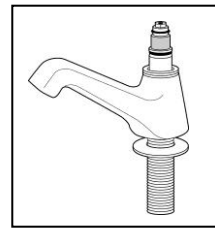
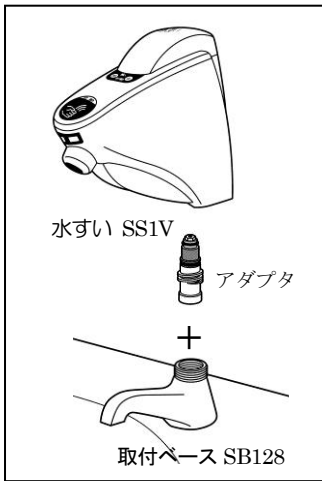




※「取付ベース SB128」は、自動水栓「水すい」を取り付ける為の部品です。



- アダプタがSB128に組み込んであります。SS1Vには付属していません。
- SB128 単体では水栓としての機能を果たしません。必ず自動水栓「水すい」とセットでご使用ください。
- SB128 をご使用いただく場合は、自動水栓「水すい」の品番 SS1V をご指定ください。SS1V 以外の「水すい」は取り付けできません

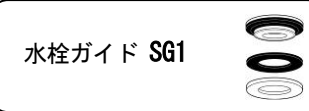
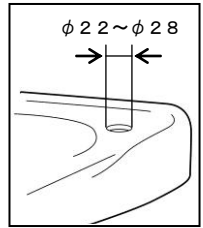
⚠ 安全上の注意

1. 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因となります。
2. 凍結のおそれのある場所では使用しないでください。故障・事故の原因となります。

1 取り付けできる水栓取付穴径

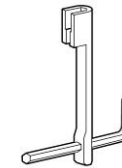
φ22~φ28です。

水栓穴径が上記寸法より大きい場合は、別売部品の水栓ガイドが必要となります。
φ30~φ38の穴の場合には水栓ガイドと組合せませす。

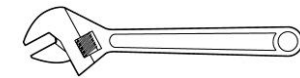


2 取付作業に必要な工具

立カラン締め



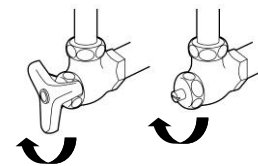
モンキーレンチまたはスパナ 23, 24
(代用工具/ウォーターポンププライヤー等)



※立カラン締め工具は、ホームセンターでも入手できます。

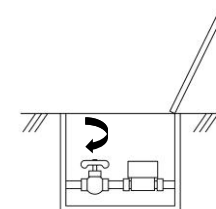
3 取り付け前の止水について

洗面器の下にある止水栓を閉じて作業してください。



←止水栓にはハンドル式とドライバー式があります。

止水栓で止水できない場合は、メーターボックス内等にある水道元栓を閉じてください。



水道元栓

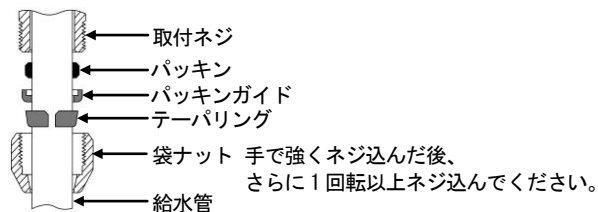
4 取付方法

<A 給水管接続の場合>

1. 取付ベースを水栓穴に差し込み、給水管と接続する。

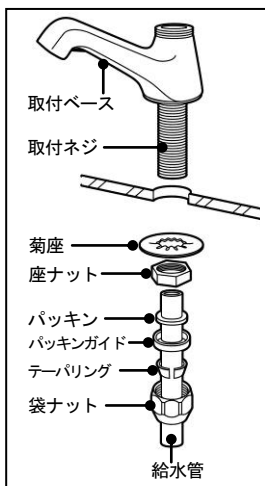
給水管が取付ベース取付口の真下にあることを確認します。次に、右図のようにパッキンやナット等を正しく取り付け、給水管を取付ネジに差し込みます。

※パッキン・ナット等は、取り付ける向きや順番を間違えないよう十分ご注意ください。



<テーパリング方式へ取換えの場合のご注意>

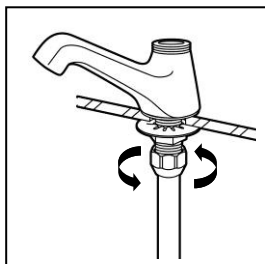
ゴムパッキンによる差込み方式からテーパリング方式へ交換する場合、給水管のパッキン部にヘコミがあると漏水の原因となります。その場合は、給水管も交換してください。



2. 取付ベースを固定する。

座ナットを「立カラン締め」で締め上げて、取付ベースを固定します。

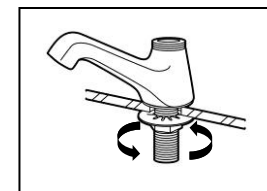
次に給水管の袋ナットを取付ネジにネジ込み、締め付けます。



<B フレキ管接続の場合>

1. 取付ベースを水栓穴に差し込み、固定する。

パッキンやナットを正しく取り付け、座ナットを「立カラン締め」で締め、取付ケースを固定します。(A-1 図参照)

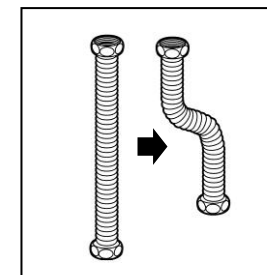


2. フレキ管を曲げる。

取付ベースと止水栓の間に収まるようにフレキ管を曲げてください。

※フレキ管は5cmぐらい長めのものを用意してください。

※フレキ管は何度も折り曲げないでください。



3. フレキ管を接続し固定する。

フレキ管の接続部にパッキンをはさみ、ナットを締めて固定してください。

